

議員活動資料

平成 14 年 9 月 10 日

総合体育館建設計画は凍結されました

須坂市議会議員 佐藤壽三郎

総合体育館の建設の是非で須坂市議会は激論を重ねて来ましたが、須坂市長永井順裕氏は、本日（9月10日）、一般質問に答える形で、「体育館建設計画の凍結」の意思表示をされました。

須坂市は、地総債廃止通告のいわば「最終便」に乗って、総合体育館建設を行なおうとしました。バブル期ならまだしも、低迷する日本経済を鑑みると、今後も予想される極めて厳しい市の財政状況を考えたとき、私は議員生命を賭して、「須坂市が「有利な起債」に飛び付き、総合体育館を造ると、将来に亘り市財政を脅かすこととなる。」と判断し、市長に僭越ながら諫言を申し上げるに努めました。

即ち、地総債発行を阻止することが、須坂市民のためになると確信し、総合体育館建設凍結を強固に唱えて来ましたが、今日、漸く市長への諫言が報われました。願いが通じた私の心は日本晴れです。「凍結」の決断をされた市長の勇氣こそ、後年の須坂市民から「名市長」と高く評価されると確信します。